

NPO法人 地域生活を考えよーかい

誰もが暮らせる地域づくりフォーラム

重症心身障害児・者といわれる方々、とりわけ医療的ケアが必要とされる方々の暮らし(生活)について、実際に支援されている方やご家族からのお話を聞くことによって、誰もが安心して暮らせる地域(まち)とは?を考える機会としてフォーラムを開催いたします。全3回シリーズの最終回です。是非、ご参加ください。

独立行政法人福祉医療機構「長寿・子育て・障害者基金」助成事業

【日時】

2009年12月5日(土)

10:15~17:15

(開場 9:45)

【場所】

いたみホール

(6F中ホール)

【参加費】

無料(事前申込要)

【定員】100名程度

【お申込&お問合せ先】

NPO法人

地域生活を考えよーかい

Tel/Fax

(072) 785-7873

Fax専用

(072) 771-1203

E-mail

kangaeyo@nike.eonet.ne.jp

(事務局: 国本・加藤)

お申込は裏面の申込用紙で
FAX又はE-mailでお願いし
ます。

～プログラム～

9:45 開場

10:15 主催者挨拶 NPO法人地域生活を考えよーかい

代表理事 李国本 修慈

～今回のフォーラムの趣旨説明～

10:30 講演:『障害児もいるよ ひげのおばさん子育て日記』より

日本画家 中畝治子さん・中畝常雄さん

12:00 昼休憩

13:30 報告:「誰もが暮らせる地域づくり」をめぐる動向

NPO法人地域生活を考えよーかい 李国本 修慈

14:40 パネルディスカッション+参加者を交えた意見交換

メインテーマ「誰もが暮らせる地域となるためには?」

～それぞれの立場から～

サブテーマ「誰もが地域で!」「言ってしまう!」

～重症心身障害といわれる方々の地域生活～

パネリスト

【中畝治子さん・中畝常雄さん】

【川村邦子さん(伊丹市肢体不自由児者父母の会)】

【久保洋さん(青葉福祉会)】

【杉田穂子さん(青山学院女子短期大学)】

17:15 閉会



◆講師プロフィール（なかうねつねお・はるこ）

横浜市在住。東京藝術大学日本画科で同級生となる。大学院で学生結婚し、模写や修理の仕事をしてしながら、それぞれの作品を発表。共に参加した松島瑞巖寺襖障壁画復元模写事業は10年以上に及ぶ。完成後の1999年からは東京・横浜などで「二人展」として作品を発表。

1984年に長男・祥太さんが生まれる。重症心身障害のある祥太さんの介助と仕事を二人で交替で続ける。祥太さん、友雄さん、千明さんの三人の子育てと仕事に追われる日々の雑感を「ひげのおばさん子育て日記」（2000年4月～2003年2/3月号、全29回）

「続・ひげのおばさん子育て日記」（2005年4月～2006年2/3月号、全9回）として『くらしと教育をつなぐWe』（フェミックス）に連載。これらの連載に新たな書き下ろしを加えて『障害児もいるよ ひげのおばさん子育て日記』（フェミックス、2008年11月）として出版。

参加申込書

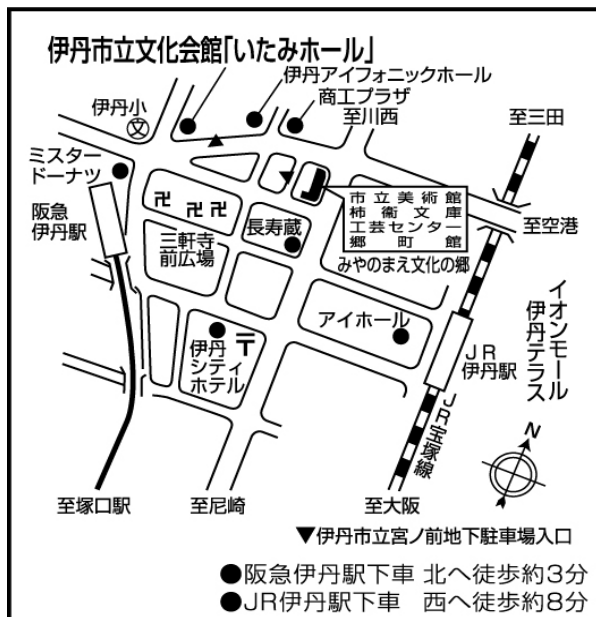
申込日 平成 21 年 月 日

氏名 参加人数 名

所属団体

その他 車イス・手話通訳・要約筆記が必要な方はその旨お書き下さい。

会場案内MAP



いたみホール TEL (072) 778-8788

申込先: NPO法人地域生活を考えよーかい

ファックスの方は

TEL/ Fax (072) 785-7873

Fax 専用 (072) 771-1203

メールの方は

E-mail: kangaeyo@nike.eonet.ne.jp

事務局: 国本・加藤